

12月16日 の海外相場

COMEX/NYMEX (\$)	Gold (Dec)	Silver (Dec)	Platinum (Oct)	Palladium (Dec)
Open	4,330.0	62.025	1,764.3	1,546.5
High	4,384.3	64.260	1,837.5	1,641.0
Low	4,315.9	61.605	1,740.4	1,527.0
Settlement	4,335.2	63.589	1,815.9	1,623.1
Change	6.9	1.582	53.4	80.4
EFP	\$30.00 \$32.00	¢ 0.00 ¢ 0.02	\$10.00 \$20.00	\$50.00 \$60.00

Fixing Prices

LBMA/LPPM Fixing (\$)	AM	PM
Gold	4,276.25	4,324.20
Silver	62.980	-
Platinum	1,806.00	1,826.00
Palladium	1,570.00	1,583.00

コメント

Precious Metal

金：横ばい、銀：小幅下落、プラチナ：上昇、パラジウム：上昇

政府閉鎖の影響で遅れて公表された11月米雇用統計（予：5.1万人 結：6.4万人）、雇用者数の増加が小幅にとどまり失業率（予：4.5% 結：4.6%）が4.6%へ上昇したことで、発表直後は金利低下を通じた買いが入りやすかった。ただ、データ自体にノイズが多いとの見方が強く、FOMCが目先の追加利下げに動くとの観測は強まりにくかった。経済指標を受け、米国債は小幅高（利回り低下）との下支え材料だった一方、利下げ観測が大きく前進しない中で買いの勢いは続かず、ドル安となった。また、12月米製造業・サービス部門PMI速報値（予：52.1 結：51.8）も予想を下回った。この日発表の米指標は総じて低調で、ドル安などから貴金属相場が上昇する場面もあったが、上値では利確売りがでた。

FX

ドル円：下落 ユーロドル：横ばい

労働市場の減速が意識されると米長期金利が低下し、ドル売り・円買いが優勢となった。雇用統計発表直後には一時154円40銭まで円高が進んだ。その後は目新しい材料に乏しく、154円台前半から半ばを中心としたもみ合いとなったが、米金利が戻り切らなかったことでドルの上値は重かった。ユーロドルは小幅高、米経済指標が総じて弱めの内容となり、FRBが2026年にかけて利下げを継続せざるを得ないとの見方がくさる中、ドル売りが続いた。1.17ドル台前半で底堅さを示し、NY時間も高値圏での推移となった。市場では、今後の方向性を決める材料として、18日発表の米CPIやFRB高官発言への関心が高まっている。

ドル円：154.68ユーロドル：1.1747

12月15日 週の経済指標一覧

	12/15 (月)	12/16 (火)	12/17 (水)	12/18 (木)	12/19 (金)
USA	前	予	前	予	前
	前	予	前	予	前
	前	予	前	予	前
	前	予	前	予	前
	前	予	前	予	前
	前	予	前	予	前
	前	予	前	予	前
Asia	前	予	前	予	前
	前	予	前	予	前
	前	予	前	予	前
	前	予	前	予	前
Europe	前	予	前	予	前
	前	予	前	予	前
	前	予	前	予	前
	前	予	前	予	前

Source: みんかぶ

COMEX/NYMEX 投機的建玉（米政府閉鎖の影響により情報公開スケジュール遅延）

2025/11/17	Gold (Mil oz)	Silver (Mil oz)	Platinum (koz)	Palladium (koz)
Long	29.9	435.2	2,903.0	1,263.8
Short	8.2	172.6	1,717.9	1,087.6
Net	21.7	262.6	1,185.1	176.2
Change	-0.4	6.1	-61.8	1.2

Source: CFTC

他社への転送・転用 堅くお断りいたします。

当資料は、信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保障するものではありません。当資料はお客様のお取引判断の参考となる情報提供を目的としており、弊社は、この情報の使用結果について一切責任を負いません。